

業績と取り組みについて

経営環境

- 住宅市場におきましては、各種住宅取得支援政策の拡充効果を背景に、新設住宅着工戸数に緩やかな持ち直しの動きが見られました。
- 当社におきましては、第1四半期は、出足が振るわず思うような推移とはなりませんでしたが、第2四半期に入り、新規着工戸数をはじめ、確認申請件数、確認交付件数も上向く状況となり、月を追うごとに期初において想定した目標を上回る形で推移することができました。



業績と取り組みについて

経営環境

- こうした経営環境の好転を受けて、当第2四半期累計期間を終えた段階で、当初の目標に近いところまで業績を押し上げることができました。
- しかしながら、住宅市場は所得と雇用が安定し、あまねく将来性が望めるような環境ができてこないと本格的な回復はなかなか難しく、ここしばらくは厳しい状況が続くと考えております。



市場環境に対応した取り組みについて

- 販売部門の再編成を目的とした世代交代、若手人材の登用と業務部門の再編成を目的とした管理部の立ち上げなどを行いました。こうした経営組織の改革がここに来て効果を上げつつあります。
- また、上海阿童木建材商貿有限公司からの調達をはじめとした購買面での自助努力による売上総利益率の向上を図りました。
- これに加え、販売費や一般管理費の圧縮など、管理可能な諸施策を実行いたしました。こうした取り組みが、着実に成果として実を結びつつあります。



第57期第2四半期累計期間の業績

	当第2四半期 (百万円)	前第2四半期 (百万円)	増減額 (百万円)	前年同期比
売上高	3,425	3,339	86	2.6%
営業利益	34	3	31	1,030.7%
経常利益	62	33	29	89.9%
四半期純利益	59	28	31	111.6%



当該期間の具体的な取り組みについて

商品戦略

- 昨年開催いたしました「秋の内覧会」において、訴求する商品を絞り込み、ソフトクローズの機構をさまざまな分野に導入した商品のご提案を行いました。
- こうした商品群は利便性や快適性を求める市場の動きに応えるものであり、多くのお客様からご好評をいただき、好調な動きを示しております。



当該期間の具体的な取り組みについて

商品戦略

- また、商品構成の再構築という観点から、流通在庫とのバランスを図りながら、シリーズ商品の集約化を進めました。
- その一方、福祉施設や高齢者介護施設、公共施設などに対する内装金物の提供についても、耐久性の高い、使い勝手のよい商品開発を積極的に進めてまいりました。



当該期間の具体的な取り組みについて

市場戦略

- 販売部門の再編成との関連から、ベテランの営業マンによって構成した販売促進グループを営業本部直轄で立ち上げ、積極的な営業支援を展開いたしました。
- こうした取り組みの結果、特販事業部や卸売事業部の成果として、次第に反映される状況となっております。



当該期間の具体的な取り組みについて

市場戦略

- また、「アトムCSタワー」におきましては、住宅やインテリアに関わるイベントやセミナーを積極的に展開したこと、1階エントランスのショップをリニューアルしたこともあり、来館者数が飛躍的に増加いたしました。
- 今後とも、「アトムCSタワー」を新規事業と既存事業との相乗効果を高める、リアルビジネスのコントロールタワーとして位置づけ、新たなビジネスチャンスの創出に取り組んでまいります。



当該期間の具体的な取り組みについて

情報システム戦略

- SNSとして立ち上げた「インテリアファン」の充実に注力してまいりました。
- また、前期において出店した「楽天」などを始めとする大手ポータルサイトでは、アンテナショップ的な性格を活かしたさまざまなトライを行っております。
- 今後とも当社では、中長期的な市場動向をリアルタイムで把握するとともに、実際の商品の動きをリサーチする観点から、オンラインショップの充実に力を入れるべく鋭意準備を進めております。



第3四半期以降の取り組みについて

- 第2四半期で示された経営環境の好転については、第3四半期においても同様の推移が見込めるものの、第4四半期以降については、未だ不透明な状況となっております。
- 幸いにも、当社の場合、大手需要家のお客様において、新たな需要を喚起する案件や商品化に関わる案件が出てきており、ある程度、市場環境に左右されることなく着実に前進する余地があると判断いたしております。



第3四半期以降の取り組みについて

- こののち「春の新作発表会」におきましては「秋の内覧会」で好評を博したソフトクローズ関連商品をさらに拡充させ、市場への浸透を図っていきと現在準備を進めております。
- 加えて「アトムCSタワー」におきましては、快適な住環境とエコロジーの融合を目指した、新たな取り組みに向けた準備を進めております。



第3四半期以降の取り組みについて

また、第7次中期経営計画に基づく、経営組織の改革による次代に向けた基盤の構築を基本方針として、厳しい市場環境に即応可能な営業体制の構築を目指し、現場レベルでの営業部隊の部門再編、世代交代に向けた取り組みをさらに強めてまいります。

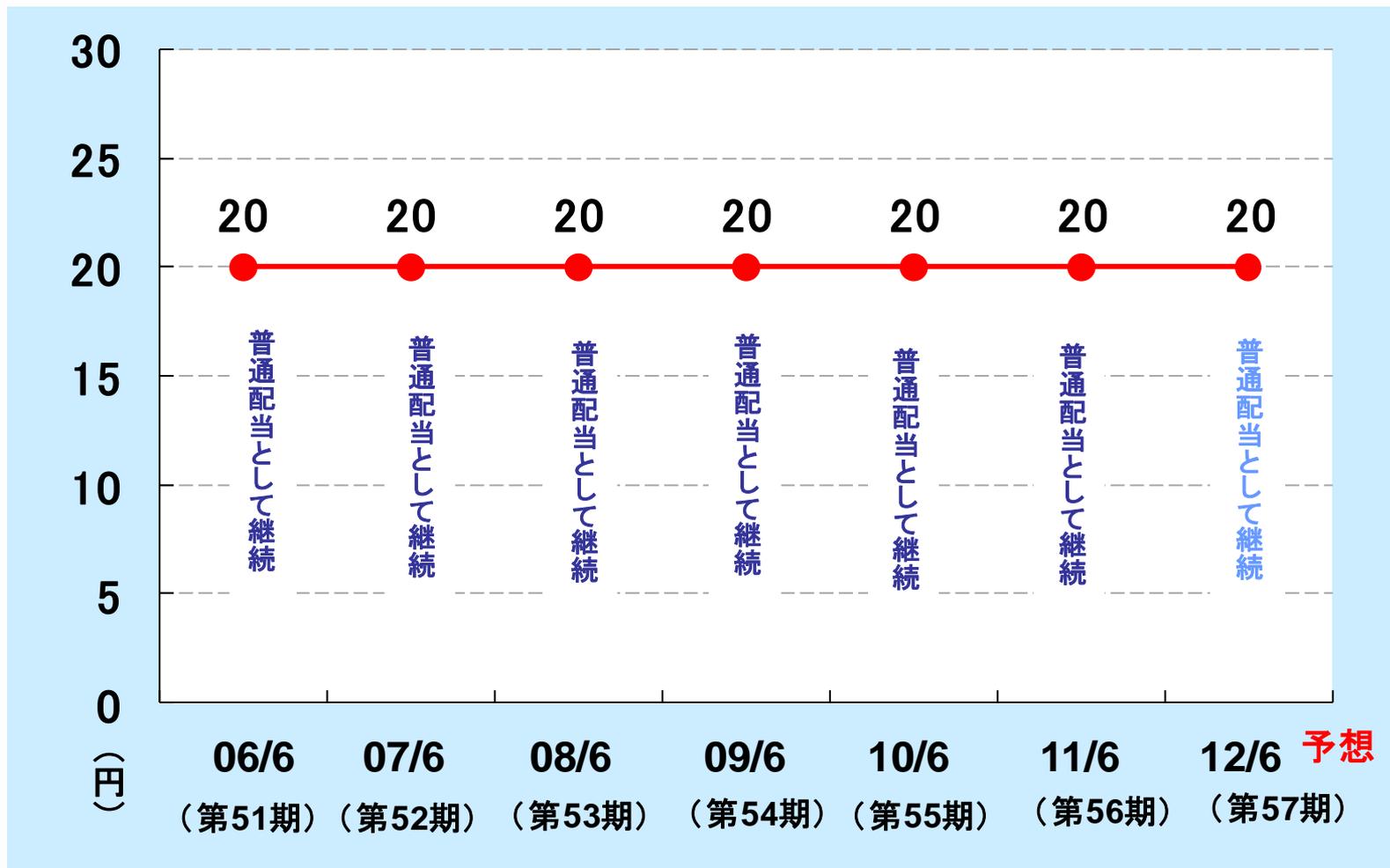


配当について

- 当社におきましては、株主の皆様のお温かなご支援を賜りつつ、何とか成長の兆しを感じ取れる状況を迎えつつあります。
- こうした株主の皆様のご支援にお応えするためにも、配当の維持を最大のテーマに、早期の業績回復に努めてまいります。
- このような観点から、第2四半期累計期間において10円、通期では20円の配当を今後とも維持していきたいと考えております。



配当金の推移



コーポレート・ガバナンスの強化について

- 当社は、定款の一部を変更し、監査役会と会計監査人の設置を伴うコーポレート・ガバナンスの一層の強化を図りました。
- これにより、経営に緊張感を持たせ、透明性を高めるとともに、当社の会議体における活性化が図られ、ひいては株主価値の向上に寄与すると考えております。



商号	アトムリビンテック株式会社（JASDAQ,3426）
本社所在地	〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL 03-3876-0600(大代表)
設立	1954年10月9日(昭和29年)
代表者	代表取締役社長 高橋 良一
資本金	3億74万円（2010年6月期末）
事業内容	家具金物・建具金物・陳列金物など、住まいの金物 （内装金物）全般の企画・開発および販売
従業員数	114名
売上高	63億4,600万円(2010年6月期)



IRお問い合わせ先:IR担当 経営企画室

TEL:03-3876-3939

E-Mail:ir@atomlt.com

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生、または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に判断されることは、くれぐれもお控えにされるようお願いいたします。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願いいたします。



住まいの飾り職人

ATOM

ATOMLIVINTECH CO., LTD.